



雪中だより

令和五年 四月七日 発行

大田区立雪谷中学校

校長 柳 歆子

春風爽快

校長 柳 歆子

校舎の窓から、呑川沿いに咲き誇る桜の花びらが、春の風に乗って舞い込んできます。

雪谷中学校の校舎から見る桜は本当に美しく、新年度のはじまりを明るく彩ってくれます。

雪谷中学校は、今年度一五十名の新入生を迎えました。令和五年度のスタートです。

始業式では、しっかりと話を聞いている新二、三年生の、少し大人びた佇まいが印象的でした。

三月の終業式で話をしたときと同じ状況のはずなのですが、二年生は三年生に、一年生は二年生になり、新しいクラスで、新しい一年がスタートする。そのスタートラインに、前向きな気持ちで立とうとする姿勢が、生徒の皆さんをまたひとつ大人に近づけてくれたのでしょうか。

今年度は、入学式に在校生全員が参列するので、二、三年生は、三年ぶりに体育館に椅子を搬入し、式の礼法、校歌の練習を行いました。

昨年度までは、「校歌披露」をDVDで行っていましたが、今年度、迫力ある二、三年生の歌声を披露することができ、とても嬉しく思います。

昨年度、三月の卒業式で、生徒たちは三年ぶりに体育館で校歌を歌いましたが、卒業生も在校生も教職員も、ご来賓や保護者の皆様も、心を合わせて校歌を歌い、久しぶりに、「みんなで校歌を歌う」感動を体験することができました。

日本の学校教育には、様々な教育活動があります。教科の学習に加えて、行事や生徒会、部活動、ボランティア活動など、それぞれに教育的な意義があり、人間の成長を支えてくれます。

雪谷中学校では、前向きに学校生活に取り組む生徒たち、熱心な教職員、温かく学校を支えてくださる保護者、地域の皆様に恵まれ、日々の教育活動を充実させることができます。

特に、生徒会活動や学年レクなど、生徒たちが自分で考えた企画や自主的な活動が活発に行われ、それを教職員や保護者の皆様がしっかりサポートして実現させていく取り組みは、雪谷中学校の素晴らしい特色であると思います。

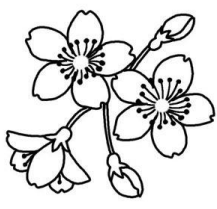
現在も、新型コロナウイルス感染症拡大予防に留意しなければならぬ状況が続いていますが、生徒の安全に配慮しながら、生徒たちが豊かな体験を通して成長できるように、今年度も精一杯工夫を思い、充実した教育活動を展開していきたいと思っております。

中学校の三年間は人間が心身ともに大きく変化する時期であり、一人一人の生徒の、その時々状況の中では、様々な悩みや困難が生まれることがあります。

また、現在は、感染症対策など、考えることも多い中で、セルフコントロールしながら生活しなくてはなりません。

雪谷中学校のすべての生徒たちが、自己の課題を乗り越え、大きく成長できるように、学校は生徒一人一人に寄り添い、保護者の皆様、地域の皆様方と連携しながら、「チーム雪谷」として全力で生徒を支援していきます。

今年度も温かいご理解、ご支援を、よろしくお願いたします。



雪谷中学校は、令和五年度よりコミュニティースクールになりました。保護者、地域の皆様のご意見やお力をいただき、より良い学校づくりに取り組みます。